

第31回

名古屋大学附属図書館友の会 トークサロン

ふみよむゆふべ

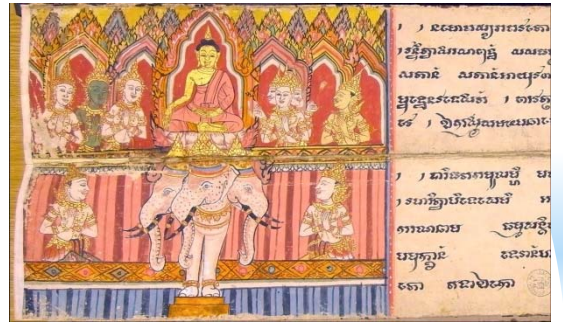
「オックスフォードでタイの仏教装飾写本を読む」
かたり：畝部 俊也（文学研究科准教授）

釈尊の伝記を挿絵とする18世紀のタイ（シャム王国）の大型の仏教写本が英国オックスフォード大学のボードリアン図書館に19世紀の終わり頃から収められています。タイでは釈尊の伝記は主に寺院の壁画として描かれ、写本の挿絵とはならなかったようで、これが唯一の例外です。

この種の写本はその美麗さゆえ美術面の研究が先行し、含まれる文献の研究はようやく緒に就いたばかりです。クメール（カンボジア）文字・パーリ語で書かれた文献を読みますと、そこには日本でも大変人気のある「仏頂尊勝陀羅尼」の因縁譚に相当する物語が含まれていました。あまり知られていませんが、東南アジアの仏教にも日本の密教のような要素が含まれているのです。

「仏頂尊勝陀羅尼」本文のサンスクリット刊本は19世紀末にはじめてオックスフォード大学で出版されたのですが、これは実は日本の法隆寺に伝わるグプタ文字・サンスクリット語で書かれた写本に基づくものです。インドから日本に伝わった陀羅尼と、タイに伝わったその因縁譚とが遙かな時空を廻り、オックスフォードの地を縁として再び一つになろうとしているように感じられます。

日本、タイのみならず、各国に伝わった様々な「仏頂尊勝陀羅尼」にも触れながら、この写本をめぐるあれこれについてお話しします。

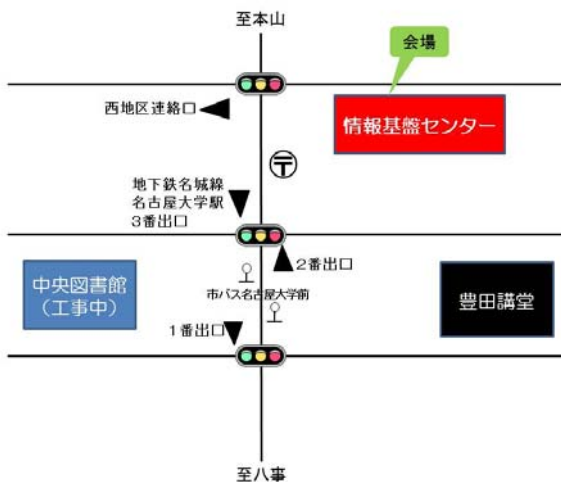


2014年3月4日(火) 午後6時～

名古屋大学情報基盤センター4階演習室

(前回と同じ会場です)

参加無料
申込不要
会員以外の方も歓迎します



(後援) 名古屋大学附属図書館、
同 研究開発室

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666 FAX 052-789-3693

E-mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo>